

■ビジョンや基本理念に関する事務局提案

第2期プランの「ひとの絆で紡ぐ笑顔の輪～子どもをまんやかに～」の**基本理念を継承**し、子ども・若者を含めた「こども」を対象に、地域の実情に合った岩見沢市版「こどもまんなか社会」の実現を目指す。



こども計画として支援対象範囲の拡大、ライフステージに応じた切れ目のない支援という観点から、3つの視点「安全」「安心」「笑顔」をさらに推し進めるため、「**成長**」という言葉**をキーワードとして考える**。

■事務局提案に対し、各委員よりいただいたご意見

委員意見

安全、安心、笑顔。そして、成長ということばをキーワードにしている、いいと思います。

あと、『**つながり**』という**キーワード**も大事なかなと思いました。

妊娠中、子育て中、成長したこども自身が、なにか不安や心配なことがあった時に、孤独にならないように安心して相談できる場所や人がいると安全、安心、笑顔につながっていくと思います。

年々こどもの数が減少していて、上の子の時は、近所の公園に遊びに行くと同じくらいの年齢のこどもがいて一緒に遊べたり、ママさん同士の交流もありましたが、下の子の時は、公園に行っても近所を散歩しても誰もいないことが多く、孤独を感じるが多かったです。

コロナ禍ということもあり、子育て支援センターにも気軽に行けませんでした。

『つながり』がある、こどもが安心して過ごせる、安心、安全、笑顔、そして成長、というのがいいかなと思いました。

・**こども一人ひとりを大切に** ・**こどもの権利を守る**

また、こどもたち自身にも意見を聞き、取り入れることで、よりこどもまんなか社会に近づけるかと思っています。

・昨年度、ヤングケアラーの議論で、家族を街で支えるという視点を共有されたと考えるが、**こどもの発達・子育てを家族の責任とせず、コミュニティで支えていくものという視点をより明確**にしてはどうか。

・「こどもまんなか社会」「ひとの絆で紡ぐ笑顔の輪」を単なるお題目にするのではなく、例えば、**こどもも含むすべての市民が、こどもの学びと育ちに関心を持つ街にしていくことなどを具体的に提案してもらいたい**。「プレコン」もこうした文脈で位置付けてもらえたら、いろんなアイデアが出やすくなるのではないかな。

岩見沢市子ども計画の基本理念及びビジョンに関する委員意見について

■「市が目指すべき姿、市がどういうまちであってほしいか」に対するご意見

委員意見

地域のつながりで子どもを育てるまち

誰も一人にしない、誰もが輝けるまち

地域には「お節介なおじさん・おばさん」が多数いらっしゃると思います。

自然と子育てを手助け出来る仕組みがあると良いのではないかと思います。

関わることを嫌がる方もいらっしゃると思いますので、ニーズ調査でその辺が分かればと思います。

経済的な安心がないと、全体的な安心にはつながりづらいのではないかと思う。

また、この地域に元々つながりのない人にも住み良さを感じて選んでいただくには、どんなサービスやサポートがあれば良いのかも考える必要があると思う。

高校生が外へ出て行かなくても良い、あるいは専門技能を持って戻ってこられるようにしないと、人口減は加速するだろうと思います。